

須坂市「蔵の街並みキャンパス」古民家再生プロジェクト

ー 平成29年度活動報告 ー



仁礼町少年神楽の会：於古民家

文化学園大学・東京工科大学

■活動概要

- ▶2009年度より,文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート
- ▶文化学園大学・東京工科大学の学生,教員が参加
- ▶数日間古民家に滞在し,ワークショップや改修作業の活動を行う



└ 須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加

└ 文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■ 目的

①古民家の活用

伝統的生活や建築の理解

現代社会の適応への模索

②様々な拠点づくり

産・学・官・民を結ぶ拠点

地域の人々を結ぶ拠点

都市と地方を結ぶ拠点

③新しいものづくり教育

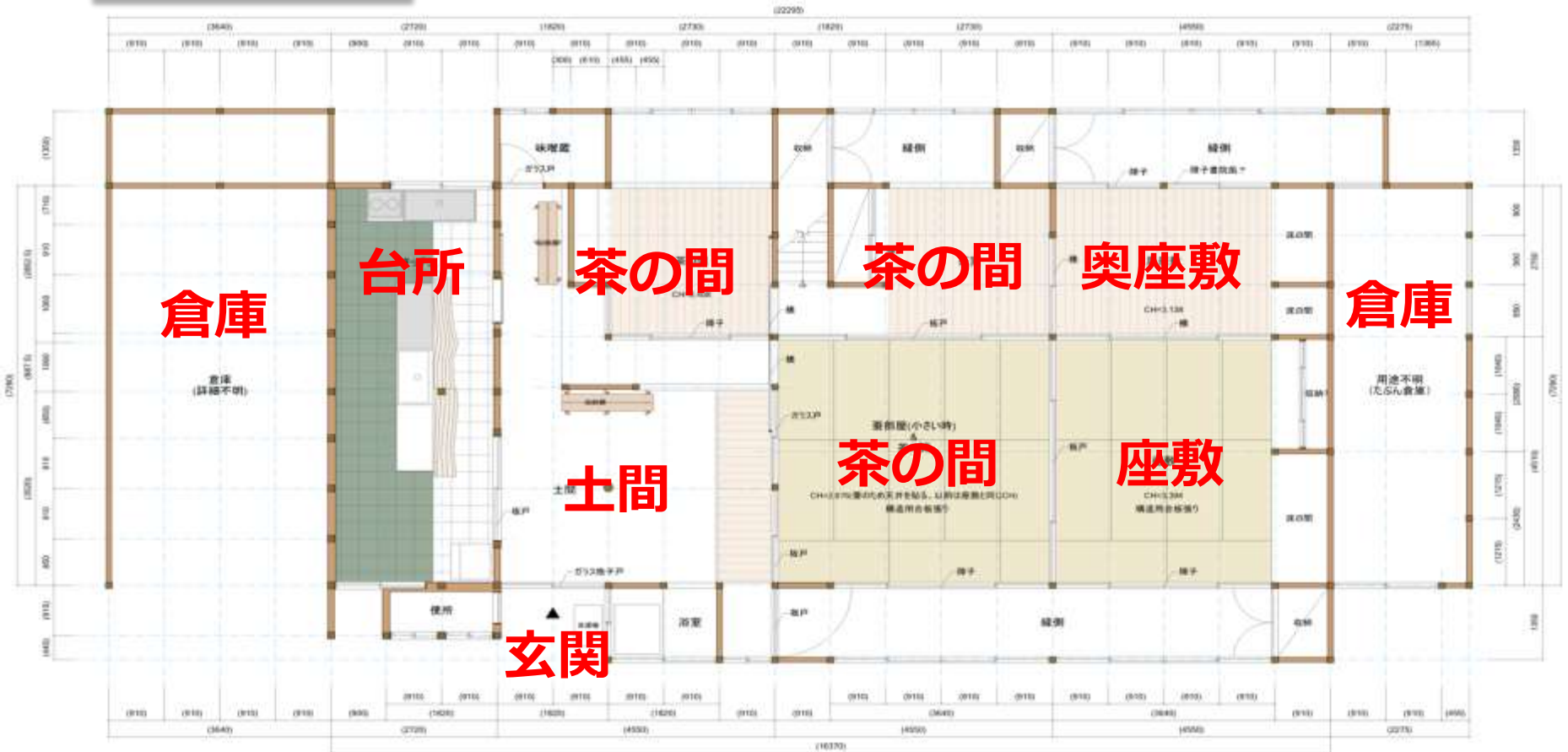
地域の人々の交流

古民家での生活・再生体験から現代生活のあり方を考える

教育の多様化、新しいものづくり教育の可能性

■ 古民家の概要

現在平面図



■ 2016年度の活動

①古民家キッチン改修（床タイル張り）

キッチン南側倉庫の壁と天井撤去、空間を拡張

中央に造り付けカウンターテーブル設置、床にモザイクタイル貼り

将来的に地域交流の拠点として利用したい

②体験ワークショップ(セミ凧とマーブリング)

セミ型をした凧を制作、近隣小学校のグラウンドで凧揚げ

マーブリング手法で凧に貼る和紙とハンカチを染色

キッチン改修(床タイル貼り)



旧キッチン空間

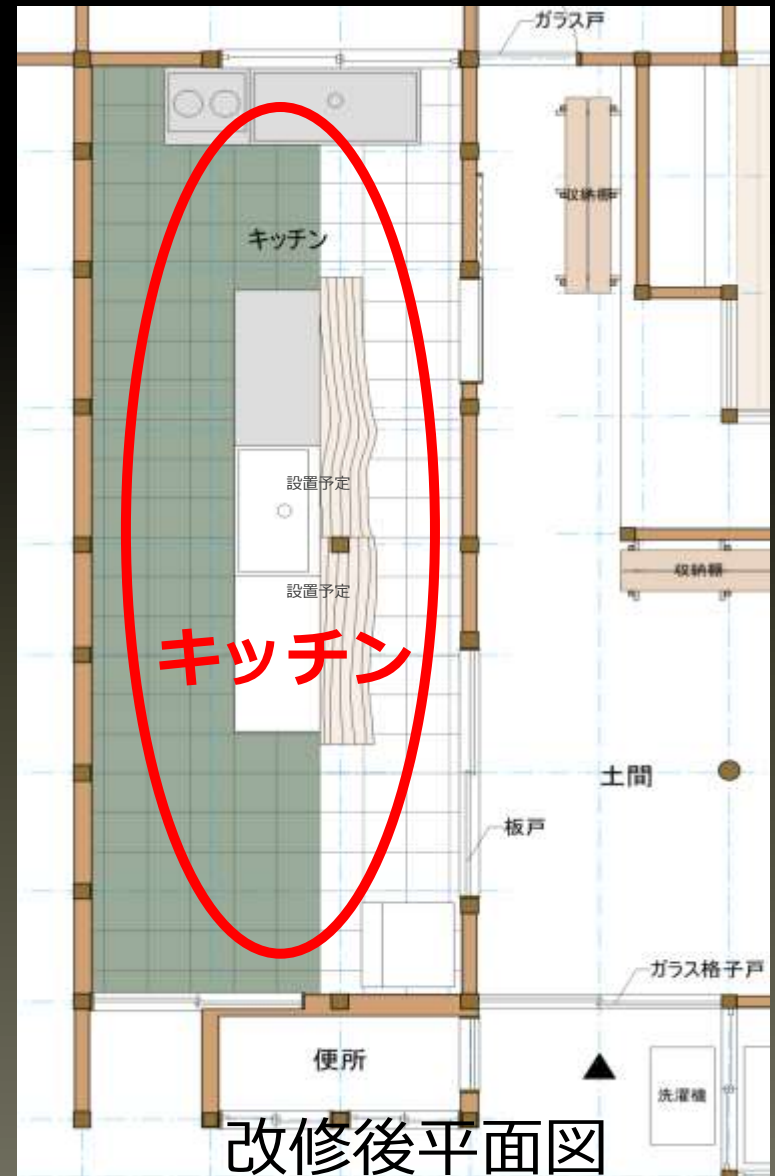
床下地作業

キッチン改修(床タイル貼り)

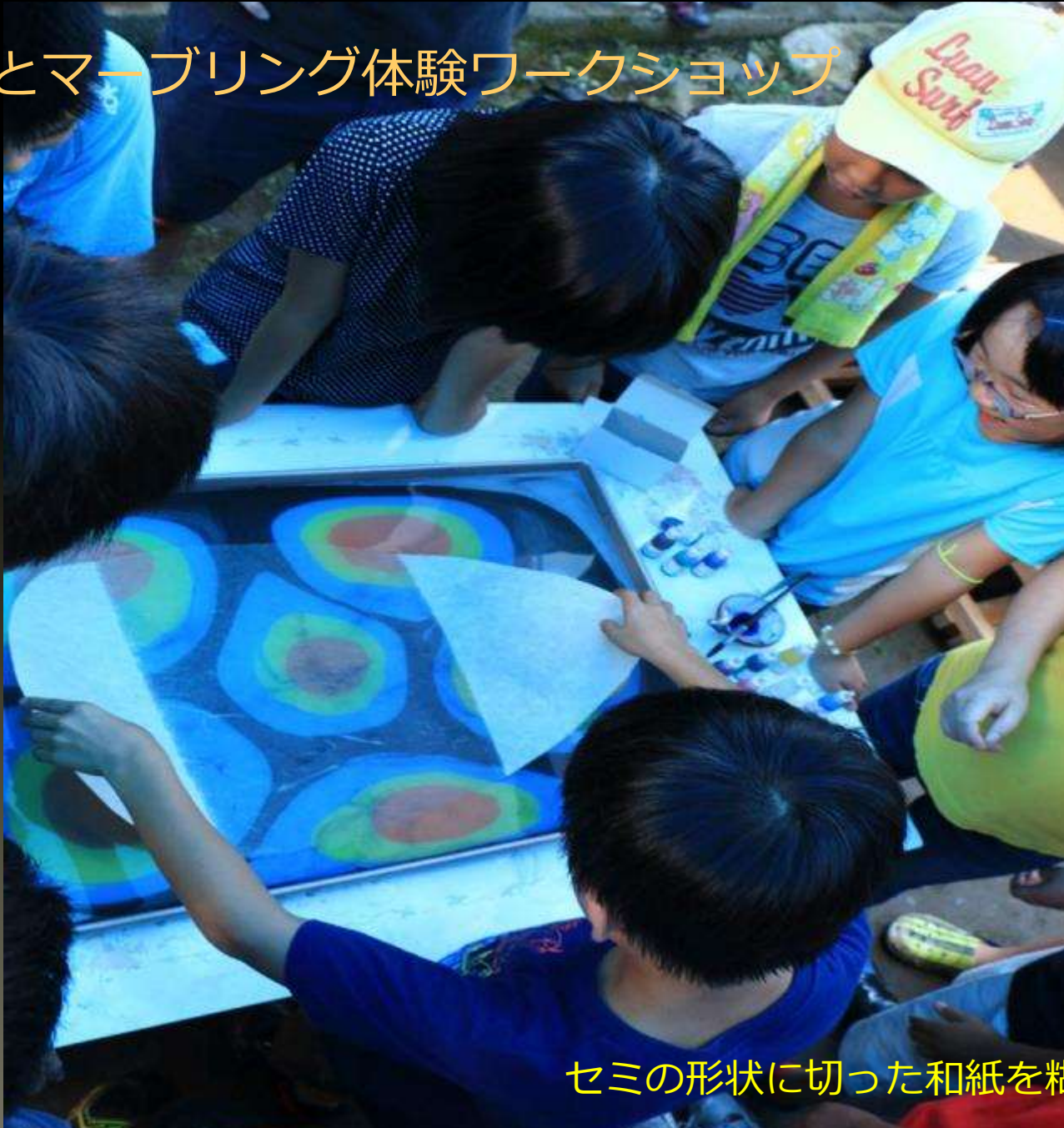


タイル貼り完成

■キッチン改修(床タイル貼り)



セミ凧とマーブリング体験ワークショップ



セミの形状に切った和紙を糊の上にのせる

セミ凧とマーブリング体験ワークショップ



仁礼小学校で凧揚げ

■ 2016年度の活動①

「キッチン改修(壁面)」

キッチンと南側倉庫をつなげキッチンスペースを拡張
庭と外部に繋がる空間となった



床にモザイクタイルを貼った



北側の壁に石膏ボードを取り付けモザイクタイル貼り
東・西・南側の壁に木板を張る



2017年度は土間にたたきを造る
将来的には、地域交流の拠点として利用したい

2016年度活動

キッチン改修（壁面）



改修作業前のキッチン

キッチン改修（壁面）



木板を切断する

キッチン改修（壁面）



タイル目地を塗り込む

■キッチン改修後（壁面）



■キッチン改修 前後（壁面）



改修前



改修後

■ 2016年度の活動②

「大人のためのD.i,Y教室」

- ▶ □須坂市仁礼生涯学習委員会、市役所職員を中心に市内でご活躍の17名が参加
- ▶ □焼き杉プレート、ステンシルランチヨンマット制作。木のカトラリー制作の3種類を体験

大人のためのD.i,Y



ステンシルランチョンマット制作

大人のためのD.i,Y



木のカタラー



焼き杉

大人のためのD.i,Y



ステンシルランチョンマット

■ 2017年度の活動①

「玄関土間の改修：三和土（たたき）仕上げ」

キッチンと南側倉庫をつなげキッチンスペースを拡張
庭と外部に繋がる空間となった



床にモザイクタイルを貼った



北側の壁に石膏ボードを取り付けモザイクタイル貼り
東・西・南側の壁に木板を張る



2017年度は玄関土間にたたきを造る
将来的には、地域交流の拠点として利用したい

玄関土間の改修



土を掘って平らにする
石を入れて強度を上げる

玄関土間の改修



左官屋さんの指導のもと、
ベト（粘土質の土）を敷いて平らにならす

玄関土間の改修



コテで強く押しながら仕上げる

玄関土間の改修



ガラスのモザイクタイルを埋め込んで、三和土に装飾をする



モザイクタイル

■ 2017年度の活動②

「外構整備（キッチン入口部分）」

キッチン整備の一環と、古い瓦の再利用

入り口部分に水が溜まり、グチャグチャになる
その一部を瓦敷きにして、使い勝手をよくする実験

（地元の職人さんは寒冷地のため難色を示していた）

2017年度活動



来年度以降は、外構すべてを整備したいが……

平面图



外構整備

外構整備



かつて古民家で使用していた瓦を
半分にカットする

外構整備



15cmほど掘り下げる

ベドをしいて平らにする

瓦のカタチを利用し、
装飾しながら立てていく

外構整備



デザインが決まったら皆で並べる（立てる）

外構整備



瓦の間にベトを入れ、仕上げに瓦の模様がでるように、刷毛（はけ）で端部を擦る（こする）

■ 2017年度の活動③

「南側座敷改修」

以前（2010年）、畳から構造用合板に張り替えた

既存の構造用合板を撤去し、

杉無垢フローリングに張り替え、住み心地をよくする

■2017年度の活動③

「南側座敷改修」

フローリングにする



南側座敷改修



敷いていた構造用合板をはがす

南側座敷改修



部屋のサイズに合わせて木材を切り「根太」を敷く

南側座敷改修



スタイロフォームを敷き詰めて断熱をよくする

南側座敷改修



杉の無垢材を敷き詰める。アテ木で詰めて釘を打つ

■ 2017年度の活動④

「キッチンでできる染織ワークショップ」

- ▶ □身近な植物（玉ねぎ、桜葉、藍生葉）と、スーパーでも手に入る助剤（塩、食酢、ミョウバン、重曹）にこだわって実行。
- ▶ □ワークショップに見えた方（約10名）
 - ・ 生涯学習推進委員会仁礼分会
 - ・ 木島平地域起こし協力隊員

染織ワークショップ（玉ねぎの皮、桜葉）



玉ねぎと桜の葉を洗って乾かす

水で20分くらい煮込む

煮汁を染液とする

染液に布（綿、絹）を漬ける

すすぎ後、ミョウバンを入れた
媒染液に漬け色を定着させる

出来上がり

染織ワークショップ（藍の生葉）



藍の葉を洗って、2%の塩入れてよく揉む

抽出された藍の成分をネットで絞りとる

水を足して染液とする

布（絹）を染液にいれて、揉みこむ

空気酸化で発色させ、水で洗い乾燥させる

染織ワークショップ



WS 参加者へ材料の説明

染織ワークショップ



WS 参加者へ板締め絞りの説明

染織ワークショップ



染め上がりを想像して絞り中

染織ワークショップ



染めている最中

染織ワークショップ



染め上がり：黄色は玉ねぎ、ピンクは桜、薄緑は藍

■ 2017年度の活動⑤

「郷土料理ワークショップ」

- ▶ □ 須坂の方から学生が郷土料理を学ぶワークショップ
- ▶ □ おやき、ニラせんべい、ひんのべ の3種類
どれも「粉もの」であり、この地域にとって米が
貴重な時代、1日1度は「粉もの」の食事が奨励
されたことから、学生がチャレンジ

郷土料理ワークショップ



概要の説明

郷土料理ワークショップ（おやき）



「おやき」は様々な種類

輪切りにした丸茄子
丸茄子に味噌を挟む
小麦粉の皮で包んで蒸す

地元に根付く伝統の味

郷土料理ワークショップ（ニラせんべい）



「ニラせんべい」

ニラと小麦粉と水を混ぜる

ホットプレートでクレープのよう
に焼く

甘辛味噌をぬって食べる



■ 2017年度の活動⑥

「仁礼まちづくり協議会と懇談会」

▶ □ 仁礼町少年神楽の会による御神楽の鑑賞

▶ □ 仁礼まちづくり協議会の方との懇談会

獅子舞の披露

約20名と学生、教員約20名が参加

仁礼町 少年神楽の会による神楽演奏



地域伝統芸能の鑑賞

仁礼町 奉納の会による獅子舞の披露



地域伝統芸能の鑑賞

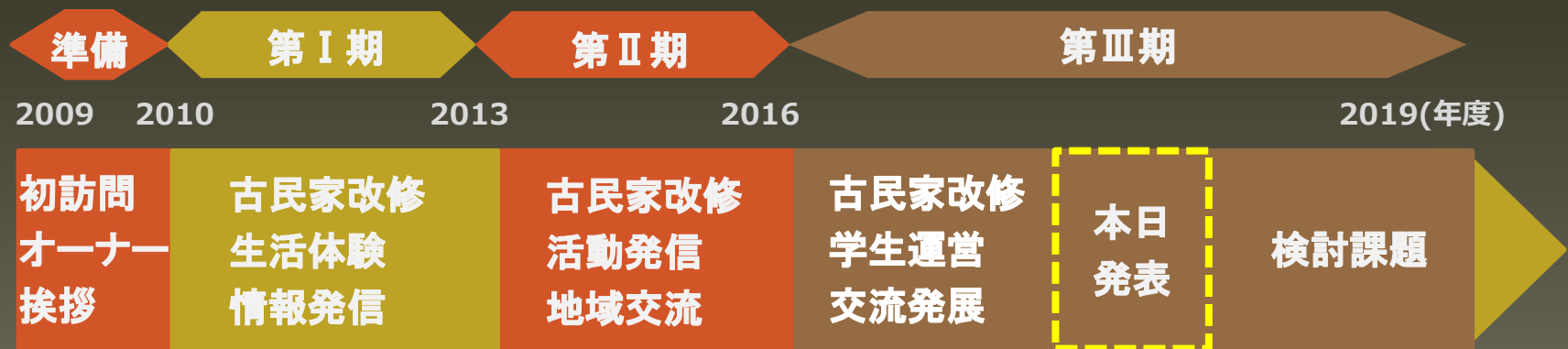
区長さんら 須坂市まちづくり協議会等の方との懇談会



地域の人々との交流会

■ 成果

- I 期は現地で滞在するための作業・食事・就寝空間の整備が主な活動内容であった。
- I 期後半～Ⅱ期に入ると基本整備が完了し、地域住民とのワークショップや地域資源を活用した活動も増加した。
- Ⅲ期からはキッチン整備をし、古民家改修をさらに進めることで、地域の活動拠点として活用することができるようになった。
活動を支援してくださる地域住民との輪が広がった。



└ 須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加

└ 文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■ 須坂市古民家再生プロジェクトの課題と展望

① 学生によるプロジェクトの運営

現時点では、基本企画については教員が実施
長期休暇中の有志による活動のため学生を参画させることが難しい
学生主体のプロジェクトを実施するための組織作りが必要

引き継ぎ

ディスカッション

企画・運営

② ワークショップ実施内容の拡大

プロジェクトに参加する人が増加し、多様化することで
企画の多様化、拡大が図れる。

③ 多様な企画を可能にする活動拠点としての整備の継続

活動拠点としての更なる整備、拡充を計っていく
活動の場と就寝の場を分けることで、参加しやすい環境作り

ご清聴ありがとうございました

